

近藤 尚己（こんどう なおき）

京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 社会疫学分野 主任教授

医師・博士（医学）

専門分野：社会疫学・公衆衛生学

略歴：

2000年山梨医科大学医学部医学科卒業。卒業後医師臨床研修後、山梨医科大学助教・同講師・ハーバード大学フェロー、東京大学准教授などを経て現職。健康の社会的決定要因と健康格差に関する疫学研究を進めている。東京大学客員研究員（未来ビジョン研究センター・公共健康医学専攻）・（一社）日本老年学的評価研究機構理事・（公財）医療科学研究所理事・（一財）医療文化経済グローバル研究所理事・日本疫学会代議員・日本プライマリケア連合学会代議員／健康の社会的決定要因検討委員会委員・世界保健機関 Technical Advisory Group on Social Connection 専門委員, Clinical Consortium on Healthy Ageing 専門家委員／Global Network on Long-term care コアメンバー。趣味は野遊び（トレイルランニング・毛鉤釣り・きのこ）・野菜づくり。

近著：「実践 SDH 診療 できることから始める健康の社会的決定要因への取り組み」中外医学社（共同編著）、「健康格差対策の進め方：効果をもたらす5つの視点」医学書院（単著）、「社会疫学〈上・下〉」大修館（監訳）、「認知症 plus 地域共生社会 つながり支え合うまちづくりのために私たちができること」日本看護協会出版会（共同編著）、「社会と健康：健康格差解消のための統合科学的アプローチ」東大出版会（共同編著）、Health in Japan: Social Epidemiology of Japan Since the 1964 Tokyo Olympics (Oxford), the Atlas of Health Inequality in Japan (Springer) など。

ウェブサイト：「京都大学大学院医学研究科 社会疫学分野」<https://socepi.med.kyoto-u.ac.jp/>

受賞歴

2006 ハーバード公衆衛生大学院武見国際保健プログラム・フェローシップアワード

2006 米国公衆衛生学会国際研究賞（佳作）

2008 安倍フェローシップ・プログラム・フェローシップアワード

2009 日本公衆衛生学会学術総会最優秀演題賞

2011 日本疫学会奨励賞

2011 山梨大学優秀教員奨励制度研究特別奨励賞

2012 山梨科学アカデミー奨励賞

2016 東京大学医学部ベストティーチャーズ・アワード

2018 日本医師会研究奨励賞

ほか山梨大学若手研究奨励賞（2回）

